

令和7年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市こども発達センター
施設の設置目的、役割	発達に心配のある子に対して発達に関する相談、医療及び療育を総合的に提供する施設として設置
施設の所在地	岡崎市欠町字清水田6番地4
施設規模	敷地面積：8,560.82 m ² 建物面積：5,489.65 m ²
指定管理者	名 称：岡崎ウェルフェアサポート株式会社（OWS） 所在地：岡崎市日名中町6丁目1番地 代表者：澄川 弘人
指定期間	平成29年4月1日から令和16年3月31日まで

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

主な運営業務としては、こども発達相談センター・こども発達医療センターの運営支援業務、総合受付業務、託児室、体育館棟の有料施設の運営等を実施した。

維持管理業務としては、建築物・設備の保守管理業務、植栽・外構保守管理業務、警備業務、清掃業務、廃棄物処理業務等を実施した。

(2) 事業実施に対する自己評価

月に1回開催される連絡調整会議に出席し、節電の提案や協力、各センター間の調整に努めるとともに、維持管理運営会議を開催することで情報の共有と岡崎市と共に課題検討を行った。有料貸出施設利用者の増加への取組として、共催のイベント開催や施設の周知に力を入れた。

また、障がいのある方の作品展示をこども発達センター1階ロビーで2回開催し、利用者に親しみやすい施設運営を心掛けた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

【開館日数(日)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
25	24	25	26	25	24	26
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
24	24	23	22	25	293	

【託児室利用者数（人）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
68	75	105	132	118	140	145
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
145	179	207	191	243	1,748	

【一般開放ゆうぎしつ利用人数（人）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
91	73	113	134	101	76	90
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
70	75	97	76	89	1,085	

【有料施設利用状況】

		調理体験室	研修室	第1多目的室	第2多目的室	体育館	合計
4月	延べ人数（人）	13	587	712	712	1,756	3,780
	稼働率（％）	6.7	29.3	29.3	29.3	70.7	39.3
5月	延べ人数（人）	131	590	944	944	2,347	4,956
	稼働率（％）	16.7	31.9	37.5	37.5	87.5	49.8
6月	延べ人数（人）	95	674	957	1,061	2,193	4,980
	稼働率（％）	12.0	36.0	34.7	37.3	81.3	47.1
7月	延べ人数（人）	132	1,402	1,886	1,886	2,177	7,483
	稼働率（％）	18.5	33.3	38.3	38.3	66.7	43.6
8月	延べ人数（人）	111	521	901	901	1,162	3,596
	稼働率（％）	18.5	23.5	30.9	30.9	61.1	37.7
9月	延べ人数（人）	110	789	966	966	1,887	4,718
	稼働率（％）	18.1	40.3	36.1	36.1	84.7	50.0
10月	延べ人数（人）	69	446	1,043	1,043	2,671	5,272
	稼働率（％）	13.6	21.0	35.8	35.8	91.4	48.1
11月	延べ人数（人）	34	526	1,088	1,088	2,108	4,844
	稼働率（％）	10.7	26.7	38.7	38.7	84.7	47.3
12月	延べ人数（人）	195	606	1,001	1,001	2,901	5,704
	稼働率（％）	22.2	34.7	38.9	38.9	79.9	49.1
1月	延べ人数（人）	281	1,201	1,624	1,522	3,064	7,692
	稼働率（％）	27.8	33.3	41.7	38.9	89.6	53.5
2月	延べ人数（人）	60	525	961	961	2,044	4,551
	稼働率（％）	15.2	31.8	39.4	39.4	85.6	49.5
3月	延べ人数（人）	33	426	858	858	2,136	4,311
	稼働率（％）	10.3	20.5	30.8	30.8	78.8	41.7
合計	延べ人数（人）	1,264	8,293	12,941	12,943	26,446	61,887
	稼働率（％）	15.9	30.2	36.0	35.9	80.2	46.4

(2) 利用状況に対する自己評価

託児は令和6年度と比べ、大きな減少はなく、多くの利用があった。利用希望が多い場合は一日を通じての利用ではなく、半日の利用にするなど保護者に理解を求め、対応を工夫して極力断ることなく受け入れを行った。託児利用児の内、支援センターのきょうだい児の利用が66%を占めた。

有料貸出施設は、令和6年度と比べて全体で7,776人の増加となった。岡崎市福祉事業団等の福祉団体が体育館などを会場として開催していた夏まつりやクリスマス会の参加者増加と新たにレクリエーションポッチャ大会について、令和7年度から指定管理者も共催することで、施設利用者イベントが広く周知され、イベント参加者が増加したことが利用者増加の主な要因である。

また、開所当所から低調な利用稼働であった調理体験室について、障がい児施設へのメール配信と岡崎パブリックサービスが運営する施設にチラシを置き、周知に力を入れた。稼働が令和6年度と比べて493人増え、稼働率も12.1%から3.7ポイント上昇している。体育館棟を利用する福祉事業所に少しずつ調理体験室が周知されていることを感じる。今後も多くの方に利用して頂ける施設を目指し、周知に力を入れて取り組んでいく。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額（円）
収 入	指定管理料収入		101,164,635
	利用料金収入	託児利用料、有料施設利用料等	1,020,290
収入 計			102,184,925
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	84,758,724
	(うち修繕費)		7,054,456
	事業費	事業に係る経費	164,486
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	17,261,715
支出 計			102,184,925
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

収入については、物価スライド上昇による指定管理料の見直しにより増収となっている。支出については、前年度と比較して人件費が200万円増加となっているが応募時の人員配置の積算とほぼ同額の金額である。また、修繕費が280万円増加しているが、募集時の積算と大きな乖離はなく計画的に修繕を行い施設維持に努めた。

4 利用者アンケート結果

(1) 実施概要

回答者数	アンケート実施方法
21 人/36 枚	8 月託児利用者にアンケート用紙を配付し、回収した。 回収率 58%。
27 人/29 枚	2 月体育館棟利用者にアンケート用紙を配付し、 回収した。回収率 93%。

(2) アンケート結果概要

総合受付では託児、体育館棟の予約受付、管理業務を行っており託児利用者、体育館棟の利用者にアンケートを配付して回収した。アンケートを実施した結果は下記のとおり。

また、託児室や体育館棟の利用者に対しては常時意見箱を設置することで利用者の声を聞き、反映させる形をとっている。

アンケート結果集約

別紙「CS 調査結果集計表」のとおり

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

総合受付業務に関しては、利用者に気持ち良く来所してもらえるよう、オンラインでの研修への参加などにより質の向上を図った。また、利用者の疑問点や質問に対しては笑顔で心掛け、丁寧な説明を行うことでサービスの質を落とすことの無いように努めた。

キャッシュレス決済を令和6年度途中から導入し、月 30 件程度の利用があり、支払い件数の内の 42%程度がキャッシュレス決済での支払いと高い割合を占めている。利用者からは好評を得ており、今後も利便性の向上のため周知していく。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

託児及び体育館棟の利用者にアンケートを実施し、利用者のニーズを把握することができた。意見箱の設置や窓口での要望などを真摯に受け止め、こども発達センターがより利用しやすい場所になるように取り組んでいく。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今年度は苦情は受け付けていないが、苦情があった場合には誠意を持って対応し、内容について原因の究明や再発防止策などについて職員全員で検討し、周知・徹底を行いたい。